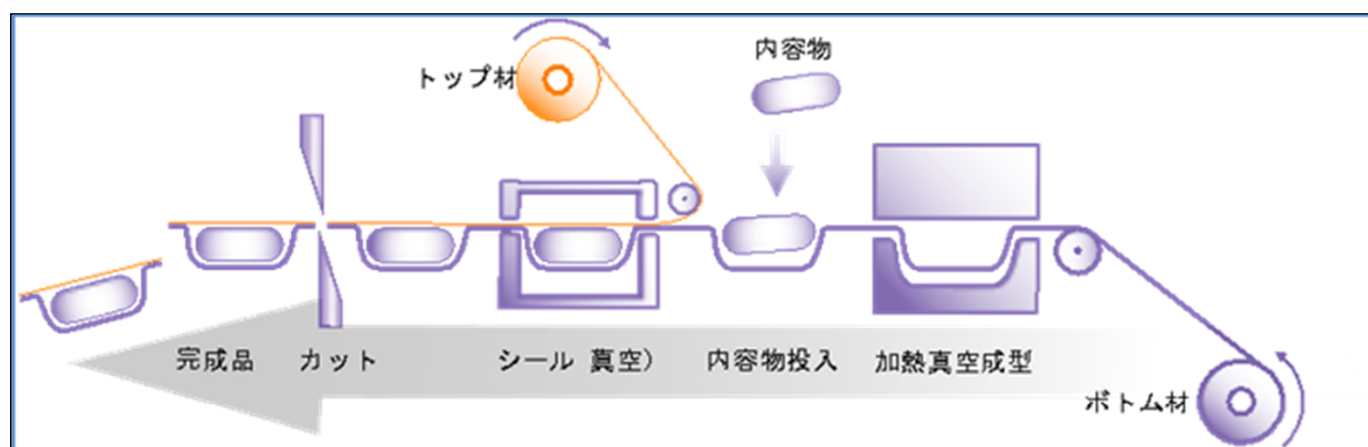


深絞り包装機と適性包材

深絞り包装機

深絞り包装機は2種類のフラット(シート)フィルムを使用し容器のような形状の包装する機械です。ボトム材(底材)を金型に合わせて成形し容器状にします。その成形部分に内容物を入れた後、トップ材(フタ材)でフタをするように真空、熱圧着を行います。この一連の動作を深絞り包装機で行います。



適性包材

包装形態には通常の真空パックの他に、容器のように硬くするリジットタイプや開封性をよくするためにイージーピール特性を付与したパターンがあります。

基本的にボトム材には、絞った時に伸びやすい厚手の無延伸フィルムが適性が高く、その中でも共押出しフィルムが最も相性が良いとされています。トップ材は延伸・無延伸フィルムどちらでも使用されています。フィルムの注意点として機械の仕組み上、ボトム材には偏肉精度、フィルムの平坦性が強く求められています。



クリロン化成 株式会社